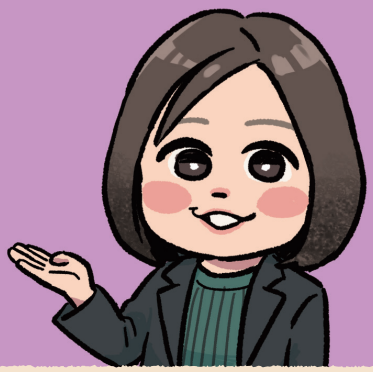
光村ポケット

中学校 英語

「使えた！」で始める 語彙指導



獨協大学
羽山 恵（はやま めぐみ） 准教授

- ☑ 単語でつまずく生徒が増えた
- ☑ 単語テストの成果が見られない
- ☑ 語彙をどう指導したらいいのか わからない

ひとつでも当てはまる方は、ぜひ中面をご覧下さい！

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。

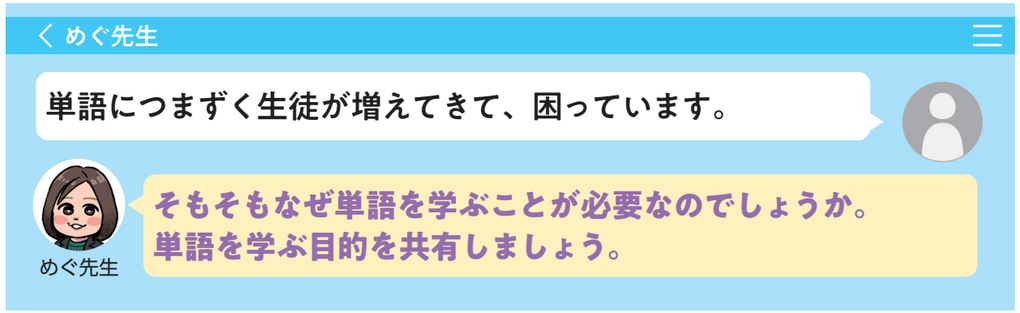
光村図書

教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

生徒が自ら学びに向かう

「使えた！」で始める語彙指導

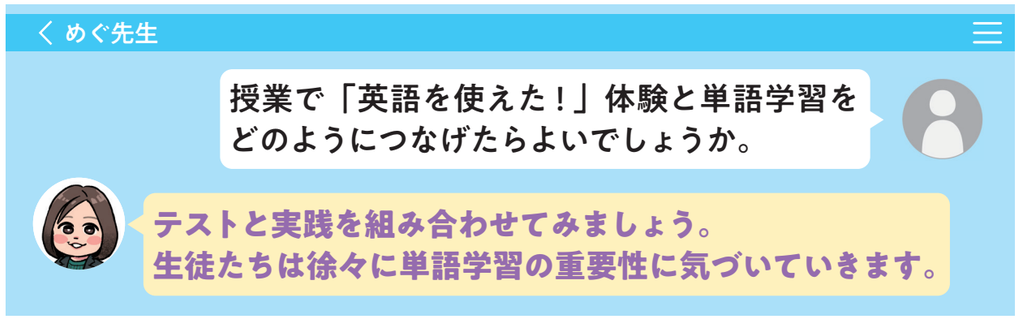
語彙指導に悩める先生がめぐ先生にチャットで相談をしています。覗いてみましょう。



「英語が苦手になってきた」という生徒が、実は単語でつまずいていることは少なくありません。単語を覚えられないまま授業が進むと、教科書の本文も聞き取れず、読めず、言いたいことも表現できず、結果として「英語が苦手だ」という自覚につながってしまいます。

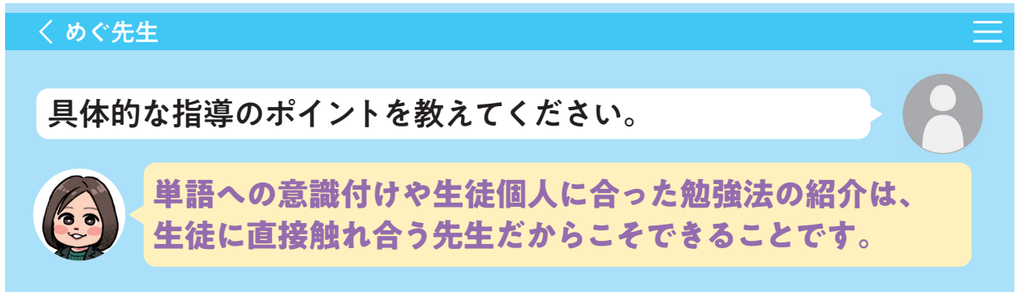
単語は文法と同様、すべての技能につながる土台です。文法はルールですが、単語は意味を運ぶ重要なアイテムと言えます。学習初期はたとえルールが不正確でも、特定の意味を表す単語を聞いて見て認知する、あるいは発して書いて並べるだけでも**意思の疎通ができることが、生徒たちにとってはうれしいこと**ではないでしょうか。

たしかに単語学習は「覚える作業」が必要なのですが、その先には「英語を使えた！」という楽しい体験があるはずです。そのような体験の場を設定し、**生徒が単語を学ぶ目的を理解し、学習の見通しを持てるよう支援する**ことが、スムーズな学習につながります。



先生方は単語テストを行っていますか？テストは生徒たちの動機づけを促しますし、継続的・計画的な学習習慣の形成にも役立ちます。テストのために覚えた単語をさらに実践の場面で使用できると、定着にも意欲の向上にもつながります。**「覚えた→出てきた→使えた→うれしかった」という、一連の体験を積み重ねられるような授業プラン**を、ぜひ作りましょう。

以前、留学生が日本滞在中にしたいことを話している動画を小学生に見せたところ、like, surfing, ocean, enjoy, dinosaur, go, Fukuiなど知っている単語をつなぎ合わせ、内容を十分に理解していました。また、ある先生が中学3年生に英語学習についてのアンケート調査を実施したところ、「もっと単語の勉強をしておけばよかった」という回答が多かったそうです。どこかで「頭の中の単語を増やしていくということは、言語学習において最も重要なことなんだ」と気づかせることができる指導を意識してはいかがでしょうか。



①「音」と「意味」から「形（綴り）」へと順序立てましょう

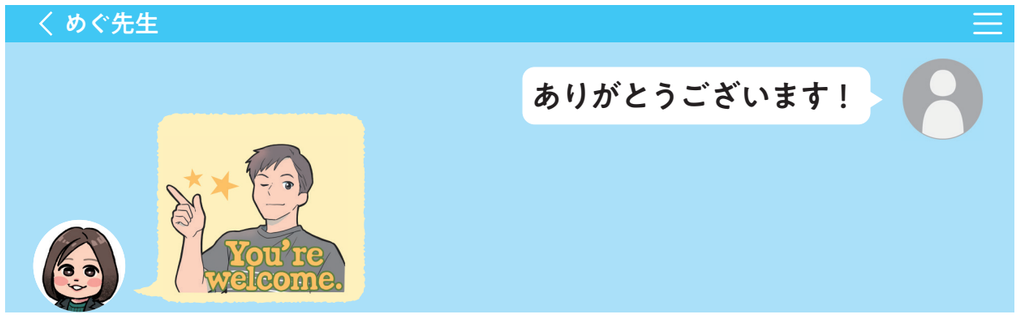
ひとつは、単語の「形（綴り）」の側面にこだわりすぎず、「音」と「意味」の側面も重視し、まずはそこをしっかり連動させることです。

小学校での学習も踏まえ「音」と「意味」の結びつきをもっと重視するべきだと最近よく指摘されています。**音を知らない単語は聞き取ることができず、本来は綴りも想起されない**はずです。単語の導入もまずは「音」と「意味」の組み合わせを優先し、その後に「形（綴り）」を音に当てはめるという順序にしましょう。また、綴りを自分で書くときは、音を声に出しながら行うことも推奨するといいでしょう。

②さまざまな学習方法を紹介しましょう

もうひとつは、「出現頻度の高い語を優先する」「忘れることを前提に学習をくり返す」「インプット・アウトプット両側面で使用する」「自分に合う学習方法を探そうとする」といった、**「学習方法論」を意識すること**です。

特に、生徒が「自分に合う学習方法を探そうとする」ことは、自律的な学習者に育っていく上でとても重要です。とりわけ語彙学習については、個人特性が深く関わってきます。たとえば機械的な暗記能力に優れているか、文脈を利用し推測力を働かせるのが上手か、分析が得意か、運動感覚が敏感かなどで、リスト学習、文脈の中で意味を推測してみる学習、接辞や語根、語源などを活用する学習、くり返し書く学習など、効果を発揮する方法も異なってきます。先生が生徒全員の特性を見取り、学習法を提案、モニターすることは難しいと思いますが、**さまざまな方法を生徒に紹介し、自分に合う方法を探すよう促してはいかがでしょうか。**もちろん、ひとつの方法だけではなく、状況・目的等に応じて学習方法を組み合わせられるのが、理想的な姿です。そういった学習者を育てる指導は、直接関わっている先生にしかできないことです。



Here We Go!　編集部

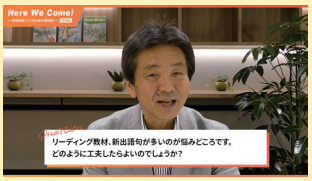
もっと語彙指導について知りたいのですが
何か資料はありませんか？



編集部

**授業に役立つさまざまな動画を公開しています。
ぜひご覧ください。**

Here We Come! 英語授業づくりお悩み相談室



教科書編集委員の太田洋先生（東京家政大学教授）に、日々の授業づくりにまつわるお悩みに一問一答形式でお答えいただきました。語彙指導に関しては#06、26、27、40をご覧ください。

#06はこちらから↑

Here We Come! 中学校英語出張ゼミナール



授業にまつわる今日的なテーマについて、理論編と実践編の二部構成で英語教育をご専門とする先生方にそれぞれの視点からお話しいただきました。語彙指導に関しては#02をご覧ください。

#02はこちらから↑

Column

最近参観した中学校の授業で、心に残る場面がありました。生徒同士のsmall talkで、ある生徒が “How are you?” と聞かれ、「いつも通り」と言いたいのにその英語表現を知らずもどかしそうにしていました。「So-soってことね？」と友だちに返されても、「違うの、そうじゃないの！」と正直に伝え、相手が変わっても同じように自分の本心にこだわっていました。英単語や表現のストックが少なくても「本当に言いたいことは譲れない！」という姿を見て、そうした英語への向き合い方を日頃から育てている授業と先生に感動しました。



獨協大学
羽山　恵　准教授

Here We Go!
キャラクターLINEスタンプ　販売中

右の二次元コードから、もしくは
スタンプショップで「光村図書」と検索してアクセス！



光村図書

教授用資料
発行者　吉田直樹
発行所　光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト　いしいたつや

光村図書ウェブサイト
光村図書